

窃盗

昨年、市内で発生した犯罪認知件数は854件。そのうち75パーセントは窃盗が占めています。特に自転車や金属の盗難が相次いでいるため、次のような対策に取り組みましょう。

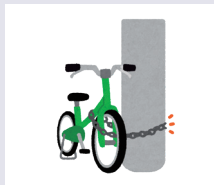
自転車盗難



昨年、市内の自転車盗難被害は104件で、最も被害に遭いやすい身近な犯罪です。わずかな時間でも必ず鍵をかけるなど、対策を徹底しましょう。

アースロック

自転車を手すりや柱など動かないものに固定しましょう。「簡単に持ち去れない」と思わせることも抑止力になります



盗難防止用ブザー

自転車の不審な動きを感知してアラームが鳴るため、犯行を諦める可能性があります



防犯登録番号を確認

万が一盗まれて警察に届け出をする際、登録番号が分かっていると、自転車が手元に戻りやすくなります



金属盗難



金属価格が高騰する昨今、県内では銅線・水道の蛇口・田畑の給水バルブ・用水路のふた(グレーチング)・銅や真ちゅう等の非鉄金属を狙った窃盗事件が発生しています。

太陽光発電施設管理者の人へ

防犯カメラ、人の侵入を検知する機械警備を複数導入しましょう。盗んでもお金にならないアルミケーブルの導入も効果的です。また雑草の手入れや、フェンス等の設備をきちんと整備して第三者に管理が行き届いている印象を与えましょう

アルミケーブルがオススメ



工事業者・施設管理者の人へ

電線、鉄(銅)板、電化製品等を放置せず、防犯カメラや照明器具の設置、警備員を配置しましょう。定期的に見回りを行い、不審者を発見したときは、すぐ警察に連絡をしてください



住居侵入

近年は手口が巧妙かつ凶悪化した侵入犯罪が発生しており、金品のみならず、時には人命が奪われる事態にまで発展しています。誰もが狙われる危険性を認識し、自宅の防犯力を高めましょう。



アポ電

親族や警察官、市役所の職員になりすまし、犯行前に家の状況や資産を把握するために電話をかけてきます

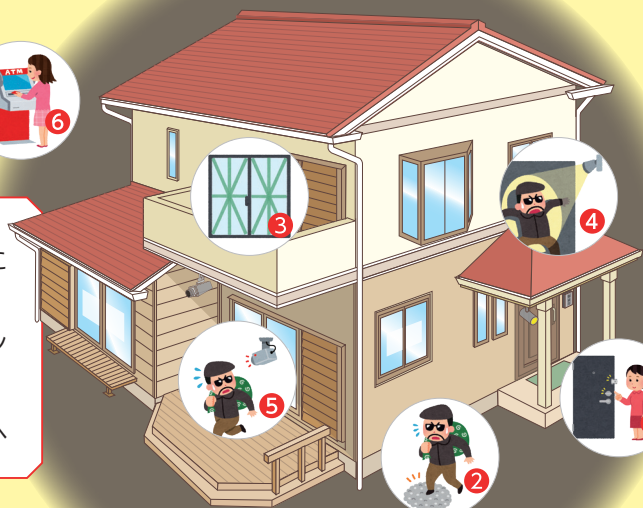


業者を装った訪問

ガスの点検などを装った訪問者が、玄関のドアを開けさせ家の中に入り、下見を行います

対策

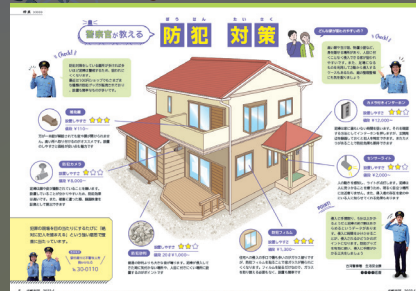
- ・自動録音機等の防犯機能付き電話機を設置する
- ・電話機の番号通知機能を活用する
- ・昼間帯、在宅でも玄関のドアは必ず施錠する
- ・インターホンやドアスコープで相手を確認する
- ・ドアを開ける際は、ドアガードをかけたままに対応する



防犯対策チェック

- 1 ☐ 補助鍵の設置
- 2 ☐ 人目につきにくい場所に防犯砂利を敷く
- 3 ☐ 防犯ガラス・防犯フィルムを貼る
- 4 ☐ 人の動きを感知するセンサーライトの設置
- 5 ☐ 防犯カメラの設置
- 6 ☐ 大金の保管は金融機関へ

防犯意識を高めよう

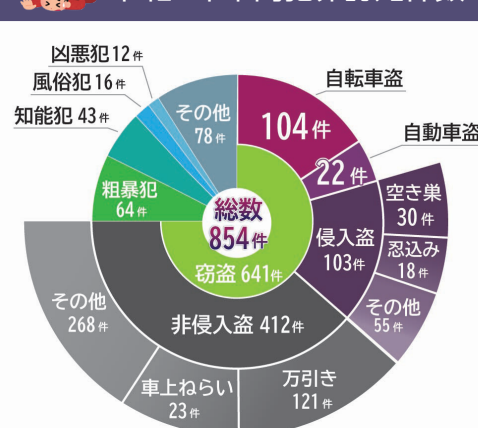


4・5ページ / 6・7ページ /



前回の防犯対策特集(令和5年7月号)を踏まえて

令和6年市内犯罪認知件数



「古河市は安全なまちだから、自分は大丈夫」と思っていないかもしれません。近年、犯罪の手口は巧妙化し、市内でも被害が後を絶ちません。被害に遭わないためには、いつ自分が狙われてもおかしくないという意識を持ち、犯罪への対策を一人一人が考え、実践することが大切です。

市内には、身近に起こる犯罪被害を防ぎ、住みよいまちにするために、地域ぐるみで防犯活動をしている人たちもいます。

今回の特集をきっかけに、犯罪被害を人ごととせず、自分にできることから始めてみましょう。

安心・安全なまちへ